

科目名	MC概論B							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	マンガ・アニメーション科四年制 2年次	必/選	選1	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	高田悠平		教員の実務経験			実務経験の職種			

**【科目の目的】**

技術的スキルだけでなく、クリエイティブな思考と表現力の両方を磨くことを目的とします。  
ネームの演出力の向上、多様な創作手法への理解、グループワークによるコミュニケーションと協調性の強化、プレゼンテーションスキルの向上、批評的思考と自己表現能力を高めます。

**【科目の概要】**

様々なアプローチのネーム演習を实践し、マンガ制作の工程において最重要とも言えるネームの演出力を向上する。  
ジャンルや掲載媒体ごとの表現、影響を受けた作家の研究・分析を行い、自身の表現スタイルの方向性を見つけ出す。  
さらにグループワークを用いて、自らの考えを他者と共有することや、創作の多様性を知覚することでクリエイターとして必要な自分の考えを持ち、まとめていく能力を身に着ける。

**【到達目標】**

- A. ネーム演出力の向上：ネームの演習を通して演出方法を強化する。
- B. 多様な創作手法への理解：多様な創作手法への理解を深め、自身の表現スタイルを発見する。
- C. コミュニケーション能力と協調性：グループワークを通じたコミュニケーション能力と協調性の強化。
- D. プレゼンテーションスキル：企画プレゼンを通じて論理的思考能力と対応力を身につける。
- E. 批評的思考と自己表現：批評的思考と自己表現の能力の向上。

**【授業の注意点】**

知識や手法の理解だけでなく、実践的な活用にも重点を置き、積極的に実践と実験を行うこと。  
与えられた課題には締め切りを守って全力で取り組み、締切を厳守すること。  
グループワークでは、チームメンバーとのコミュニケーションと協力を重視し、共同での成果創出を目指す。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
A ネーム演出力の習得	ネームの演出が卓越しており、物語を鮮明に表現できる	演出方法を理解し、効果的なネームを作成できる	基本的なネーム作成はできるが、演出に深みが足りない	ネームの演出が単調で、表現力が不足している	ネームの演出力が不足している
B 多様な創作手法への理解	多様な手法に精通し、自分のスタイルを明確に示している	様々な手法を理解し、適切に応用できる	基本的な手法は理解するが、応用には限界がある	手法の理解が浅く、応用が不十分である	創作手法への理解が不足している
C コミュニケーション能力と協調性	グループ内でリーダーシップを発揮し、高度な協調性を示している	グループワークに積極的に参加し、良好なコミュニケーションが取れる	平均的な参加と協調性を示している	グループワークに消極的で、協調性が足りない	グループワークに参加せず、協調性がない
D プレゼンテーションスキル	プレゼンテーションが卓越しており、論理的思考と対応力を示している	効果的なプレゼンテーションを行い、適切な論理展開を示している	基本的なプレゼンテーションはできるが、説得力に欠けている	プレゼンテーションが不安定で、構成力が不足している	プレゼンテーションの技術や論理性が不足している

E 批評的思考と自己表現	批評的に深く考え、独自の強い自己表現を持っている	批評的思考ができ、適切な自己表現をさせている	平均的な批評的思考と自己表現を示せている	批評的思考や自己表現が未発達である	批評的思考や自己表現が不足している
-----------------	--------------------------	------------------------	----------------------	-------------------	-------------------

【教科書】

参考書・参考資料等は授業中に指示する

【参考資料】

テーマに沿った資料配布を行う。参考書・参考資料等は授業中に指示をする。

【成績の評価方法・評価基準】

作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		MC概論B			年度	2025
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ネーム演習1 「登場」	ネーム演出力の向上	登場シーンの解説	効果的なネーム演出の理解	3	
			登場シーンのネーム制作	実際のマンガ作品を分析し知識を得る		
				キャラクターに適した登場シーンの演出手法の習得		
2	ネーム演習2 「会話」	ネーム演出力の向上	会話シーンの解説	効果的なネーム演出の理解	3	
			会話シーンのネーム制作	実際のマンガ作品を分析し知識を得る		
				会話のリズムや感情を踏まえた演出手法の習得		
3	ネーム演習3 「クライマックス」	ネーム演出力の向上	クライマックスの解説	効果的なネーム演出の理解	3	
			クライマックスのネーム制作	実際のマンガ作品を分析し知識を得る		
				魅力的なクライマックスシーンの演出力の向上		
4	ネーム演習4 「メタファー」	ネーム演出力の向上	メタファーの解説	効果的なネーム演出の理解	3	
			メタファーを使用したネーム制作	実際のマンガ作品を分析し知識を得る		
				メタファーを使用して、発展した演出力の向上		
5	少年誌・青年誌の表現方法	表現スタイルの研究	表現方法の解説	少年誌・青年誌の特徴を理解する。	3	
			各自で分析を行い、ディスカッションで共有する	多角的な視点で意見を出し合い理解を深める。		
			レポートの提出			
6	少女誌・レディースコミックの表現方法	表現スタイルの研究	表現方法の解説	少女誌・レディースコミックの特徴を理解する。	3	
			各自で分析を行い、ディスカッションで共有する	多角的な視点で意見を出し合い理解を深める。		
			レポート提出			
7	誌面とデジタルの表現方法	表現スタイルの研究	各掲載媒体における表現方法の解説	掲載媒体の特徴を理解して、創作スタイルに応用する。	3	
			各自で分析を行い、ディスカッションで共有する	多角的な視点で意見を出し合い理解を深める。		
			レポート提出			
8	影響を受けた作家の分析	表現スタイルの研究	分析方法の解説	自身の創作のルーツを探ることで、表現スタイルを明確化する。	3	
			個々の影響を受けた作家の分析	表現スタイルの方向性を固めて、今後の作品制作に反映する。		

				レポート提出		
9	企画会議ワーク 事前準備	企画会議の目的と効果を レクチャーする		企画会議の目的と効果	目的と効果を理解し、企画会議への期待を高める	3
				マンガ編集者の打ち合わせの 仕方	多角的な視点でフィードバックを行えるようにする	
10	企画会議ワーク 1-1 (個人ワーク)	題材について理解を深め、 企画の制作を行い、 発想力・考えを整理する 力を養う		テーマ発表・解説	テーマの特徴を捉える	3
				テーマについてグループ ディスカッション	テーマに関する情報収集を協力して 行い、企画に反映する	
				個人で企画の作成		
11	企画会議ワーク 1-2	企画プレゼンを通して、 コミュニケーション能力・ 論理的思考能力・批評的 思考を向上		グループ内で企画発表	プレゼンテーションスキル・ コミュニケーション能力を 磨く	3
				フィードバック	批評を通じて自身の考えを 整理すると共に、発想を 広げる	
				ブラッシュアップ	最適な資料へと調整し、 企画を完成させる	
12	企画会議ワーク 1-3	企画プレゼンを通して、 コミュニケーション能力・ 論理的思考能力・批評的 思考を向上		グループ内で再度発表	プレゼンテーションスキル・ コミュニケーション能力を 磨く	3
				各グループの優秀作品を 全体発表	ワーク全体を通しての 思考・行動を振り返り 客観的な視点を養う	
				振り返りレポート提出		
13	企画会議ワーク 2-1 (個人ワーク)	題材について理解を深め、 企画の制作を行い、 発想力・考えを整理する 力を養う		テーマ発表・解説	テーマの特徴を捉える	3
				テーマについてディス カッション	テーマに関する情報収集を 協力して行い、企画に 反映する	
				個人で企画の作成		
14	企画会議ワーク 2-2	企画プレゼンを通して、 コミュニケーション能力・ 論理的思考能力・批評的 思考を向上		グループ内で企画発表	プレゼンテーションスキル・ コミュニケーション能力を 磨く	3
				フィードバック	批評を通じて自身の考えを 整理すると共に、発想を 広げる	
				ブラッシュアップ	最適な資料へと調整し、 企画を完成させる	
15	企画会議ワーク 2-3	企画プレゼンを通して、 コミュニケーション能力・ 論理的思考能力・批評的 思考を向上		グループ内で再度発表	プレゼンテーションスキル・ コミュニケーション能力を 磨く	3
				各グループの優秀作品を 全体発表	ワーク全体を通しての 思考・行動を振り返り 客観的な視点を養う	
				振り返りレポート提出		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						